

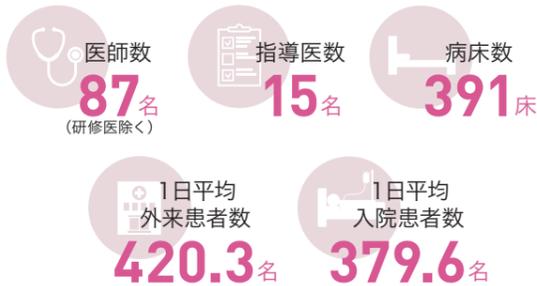


- ▶ 研修医数 1年目 10名、2年目 10名
- ▶ 昨年度マッチング受験者数 35名
- ▶ 研修医の主な出身大学

産業医科大学、福島県立医科大学、秋田大学、埼玉医科大学、筑波大学、新潟大学、旭川医科大学、群馬大学、帝京大学、山梨大学、金沢大学、長崎大学、東京女子医科大学、千葉大学、島根大学、福岡大学、岐阜大学、金沢医科大学、東北大学、獨協医科大学、日本大学、順天堂大学、昭和大学、聖マリアンナ医科大学、広島大学、弘前大学、岩手医科大学、信州大学、大分大学、国際医療福祉大学、鹿児島大学、琉球大学、東京医科大学、東海大学、徳島大学

## ■ 病院の概要

NPO法人卒後臨床研修評価機構(JCEP)による認定 / 無



### ■ 診療科

内科、呼吸器内科、循環器内科、消化器内科、代謝・糖尿病内科、腎臓内科、神経内科、外科、消化器外科、肛門外科、心臓血管外科、呼吸器外科、整形外科、脳神経外科、乳腺外科、形成外科、皮膚科、泌尿器科、婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科、救急科、病理診断科、リウマチ科

### ■ 主な認定施設

救急告示病院、地域医療支援病院、埼玉県がん診療指定病院、埼玉県がんセンター医療連携施設、災害拠点病院、埼玉県 DMAT 指定医療機関

## 研修プログラムの特色

新久喜総合病院は医師が少ない埼玉県の中でも更に医師少数区域と言われている医療圏に位置しています。地域医療に取り組む環境で当院の研修医は雑用ではなく医師としての仕事を行います。プライマリ・ケアの基本的診療能力を習得し、2年間の経験で1人で診療を行い対応できる能力を身に付け、ジェネラルの対応を求められる場面でも初期診療を行える医師を目指していただきます。また、選択科目の期間に研修医の希望によって専門の診療科での研修も行える環境です。内科・外科においては新専門医制度の基幹施設、形成外科・脳神経外科・整形外科・救急科・放射線科は連携施設として3年目以降を見据えた研修も可能です。救急やベッドサイドなど現場を中心として研修医自身が経験でき、よりよい研修となるように取り組んでいます。

### プログラム例 新久喜総合病院卒後臨床研修プログラム / 募集定員: 10名

	1-4週	5-8週	9-12週	13-16週	17-20週	21-24週	25-28週	29-32週	33-36週	37-40週	41-44週	45-48週
1年目	内科			救急科			病院必修		外科	麻酔科	精神科	
2年目	内科	地域医療	産婦人科	小児科	病院必修			選択科目				

必修: 内科24週、救急科12週、外科4週、麻酔科4週、精神科4週、地域医療4週、産婦人科4週、小児科4週

選択: 新久喜総合病院もしくは協力病院、協力施設にて手技の習得や専門科の経験を目的とし研修医が選択する。

### ■ 研修医の処遇

給与	約46万円/月	勤務時間	8時00分～17時00分
諸手当	当直手当別途支給	当直	あり(6回/月)
保険	組合健保(巨樹の会健康保険組合) 厚生年金保険 雇用保険あり 労災保険あり 確定拠出年金あり 医師賠償責任保険(病院において加入)	休暇	有給休暇(年10日) 他リフレッシュ休暇あり
		宿舎	あり
		その他	学会参加について病院補助あり

### ■ 主な臨床研修協力病院・協力施設

- 久喜すずき病院
- 土屋小児病院
- 所沢明生病院
- 鴻巣病院
- 熊谷総合病院
- 羽生総合病院
- 深谷赤十字病院
- 丸山記念総合病院
- 芳賀赤十字病院
- 東京品川病院
- 他、関連病院等

## ■ 当院の魅力

### 実践の医療を経験し実力がつく研修

当院では研修医自ら前面で基本的な手技や診察を行い、それを上級医・指導医が後方から指導します。研修医が自ら経験できる環境です。多くの症例に接し幅広い Common Diseaseに対応できる力を身に付けます。2年間で自身自身の力で診療する能力を身に付けます。選択科目では各専門診療科での研修を行い3年目以降の進路に沿った専門的な指導も行っています。

- ・研修に力を入れており、教育熱心な指導医のもと実践の医療を経験できます。
- ・一般的な症例から専門領域まで研修医の希望や特性に沿った研修を行います。
- ・初期研修医の裁量も大きく、経験を積みたい研修医が様々な大学から集まります。
- ・上級医、指導医と日々のコミュニケーションがとれているため相談しやすい環境です。
- ・症例数も豊富で積極的に手技が学べます。



### 女性医師支援

院内保育所を設置しています

女性専用スペース  
(仮眠室・当直室等) あり

他、産休等

## 病院見学、その他イベント・説明会等の情報

### 【病院見学随時受付中】

- ・申込みは当院 HPの初期研修採用ページ「お問い合わせフォーム」、もしくは E-mailから申込み下さい。
- ・交通費支給(上限あり)



### 【インターンシップ受付中】

- ・申込みは当院 HPの初期研修採用ページ「お問い合わせフォーム」、もしくは E-mailから申込み下さい。
- ・実践型インターンシップ
- ・宿舎利用可能

## 連絡先

病院名 新久喜総合病院  
所属 臨床研修担当 松永  
住所 〒346-8530 久喜市上早見418-1  
TEL 0480-26-0033(代表)  
FAX 0480-44-8026

E-mail kukijinji@shinkuki-hp.jp  
URL http://www.shinkuki-hp.jp  
アクセス JR宇都宮線・東武伊勢崎線 久喜駅からバスで約10分

## 研修責任者 から メッセージ



プログラム責任者  
信太 薫

新久喜総合病院は、断らない医療を実践しています。研修医の皆さんには、まず、generalistとして、救急の現場でご活躍いただきます。第一線の救急の現場で、様々な患者さんと出会い、指導医とともに、多くの経験を積んでいただきます。当院の指導医は、specialistとして、各々、専門領域で活躍していますが、救急当番の際には、generalistとして活躍できる素養を持っています。研修医の皆さんとともに治療にあたり、様々な臨床現場での判断を指導、サポートします。研修医の皆さんは、研修期間が終わる頃には多くの様々な救急症例を経験し、救急現場で、ある程度判断、治療できる力がつくようになります。埼玉県利根医療圏は、人口当たりの医師数が大変少ない医療圏です。地域の皆さんのために、利根医療圏の救急医療をともに支えていきましょう。研修医の皆さんの限りなき情熱が新久喜総合病院の活力となり、地域医療を支える原動力となっていきます。研修医の皆さんは、救急チーム医療の、そして、新久喜総合病院のかけがえのないメンバーです。

## 先輩研修医 の声

研修医 2年目

佐々木 淳一



病院がある久喜市は埼玉県の東北部に位置していて医療資源が少ないと言われている埼玉県の中でも更に医師数など少ない地域なので幅広い疾患の患者さんが多く来院されます。そのため日々どう対応しようか悩むことも多く、指導医の先生に教えてもらったり、同期と知識を共有したり、少なくとも後輩の研修医に聞かれてもなんとか答えられるようにしたいと頑張っています。よくある病気についても色々な可能性を考慮したり、初めて経験するような診療を振り返ったりと、いくら時間があっても足りないと思うことがありますが、研修医のやる気を尊重してくれる環境で充実した毎日を送っています。

研修医 1年目

篠原 匡導



大学の延長ではなく自ら診療や手技を経験したいと新久喜総合病院を選びました。他にもハイパーと言われる病院を見学しましたが新久喜総合病院の研修医の先生方の診療の現場を見て、ここであれば医師としての経験を積める研修になる、と感じました。実際に研修が始まると分からないことだらけで、先輩を頼り、同期に聞き、と周りに助けられなんとか付いていっています。研修医や上級医の先生方も様々な大学から集まっている環境で皆明るく雰囲気が良いです。